

「国語」・「数学」の力と学習の様子

～『R6 全国学力・学習状況調査』から～

今年度は、国語、数学の調査が行われました。どの教科からも、学校での授業の工夫や家庭での学習の様子がうかがえました。 ✿は良いところ ➡は伸ばしたいところ

【国語】

① 学習指導要領の内容における結果 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」の6内容からの出題でした。

✿…多くの内容で全国の平均正答率を上回っています。

② 特に正答率の高かった問題

✿…「我が国の言語文化に関する事項」において、「行書の特徴を理解しているかどうかをみる問題」では、全国及び県の平均を超える高い正答率でした。点や画が連続したり省略されたりする場合がありますといった行書の特徴を理解できています。

✿…「言葉の特徴や使い方に関する事項」において、「文の成分の順序や関係について理解しているかどうかをみる問題」、「文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる問題」では、全国及び県の平均を超える高い正答率でした。

③ 課題

➡…「話すこと・聞くこと」において、「話し合いの中で話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができるかどうかをみる問題」に課題がありました。話し合いの中で自分の考えをまとめる際には、何についてどのような目的で話し合っているかといった、目指している到達点を常に意識し、互いの発言を結び付けられるようにすることが重要です。

【国語の平均正答率】

全国、県、本市の比較位置

◆福井県

●越前市

■全国58.1

全国の平均を上回り、県とほぼ同じでした。

【数学】

① 学習指導要領の領域における結果 「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」の4領域からの出題でした(今回は「測定」領域からの出題はありませんでした)。

✿…「数と式」「図形」「関数」「データの活用」のすべての領域で、全国の平均正答率を上回っています。「関数」の領域において、県の平均正答率を上回っています。

② 特に正答率の高かった問題

✿…「数と式」の領域において、等式を目的に応じて変形する問題では、全国及び県の平均を超える高い正答率でした。文字を用いた式について、ある文字について解くことの意味を理解し、等式を変形することができます。

✿…「関数」の領域において、一次関数について、式とグラフの特徴を関連付ける問題がよくできています。一次関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付ける知識が身についています。

③ 課題

➡…「データの活用」の領域において、与えられたデータから最頻値を求める問題に課題があります。代表値の必要性和意味を理解し、目的に応じてデータを収集して分析し、データの傾向を読み取る活動を充実させていくことが大切です。

【数学の平均正答率】

全国、県、本市の比較位置

◆福井県

●越前市

■全国52.5

全国の平均を上回り、県とほぼ同じでした。